京丹後市立弥栄病院広報

第49号
2025.2発行

やすらぎ

目次

2P 新年のあいさつ　2025年（令和7年）は『変革の年』
京丹後市立弥栄病院　院長　神谷　匡昭
3P ・わくわくドキドキ中学生職場体験
・安原名誉院長が京都府保健医療功労者等知事表彰を受賞
4P 心不全記録手帳について
5P 冬の感染症予防について … 感染管理認定看護師より
6・7P 院内集談会を開催しました
8P 外来診療日程表

弥栄病院

丹後医療圏として

・質の高い患者本位の医療を提供します。
・保健と福祉に貢献します。
・安らぎの感じられる医療をめざします。

新年のあいさつ

2025年(令和7年)は『変革の年』

京丹後市立弥栄病院
院長　神谷　匡昭

新年あけましておめでとうございます。

昨年末から、インフルエンザが記録的な大流行を続けており、コロナ感染症もくすぶり続けています。年初には結構な降雪もあって、新たな年の行く末を心配させるような新年のスタートとなりました。

真冬らしく底冷えのする気候が続いておりますので、皆様には、お体にお気をつけてお過ごしいただきたいと思います。

さて、２０２５年の干支は巳年ですが、当院では、まさに蛇のように脱皮を繰り返し、より良い病院へと変革しながら地域医療に邁進してまいりたいと思います。これまでから進めてまいりました延長線上ではありますが、そのための取組をいくつか紹介させていただきます。

一つ目は、診療所や開業医の先生方、消防署、介護施設、調剤薬局等関係機関との連携と強化です。

心不全カンファレンスの発信、地域連携会議や薬薬連携会議などを進めておりますが、機関連携の一層の緊密化を図ることで、当院だけでなく地域全体で患者様に対応できる体制を作り上げていきたいと思います。

次に、市民の健康の維持・増進のための検診や人間ドックの強化・充実です。

当院では毎年2,500件以上の検診やドックを行っていますが、さらに一般健康診断や人間ドックの充実へ向けた展開を図ります。超高齢化社会を迎えつつある我が国にあって健康寿命の延伸とQOLの向上は大変重要なテーマであり、そのためにも一人でも多くの市民に当院での検診やドックへ足を運んでもらいたいと願っています。

三つめは、病院職員の資質向上のための取組強化です。接遇マナーやコミュニケーション能力研修など従前の取組に加え、医療専門職としての更なる資質向上、マネジメント能力やリーダーシップ能力の向上などを目的として学会発表などについても積極的に支援し、発信してまいりたいと思います。

最後に、アフターコロナに向けた病院事業の運営改善です。地域拠点病院、地域のハブ病院としての当院の役割をしっかり理解し、地域包括医療・ケアを実践できる風通しの良い環境を構築しながら経営改善も進めるため、現在、第三者機関を通じて個々の業務の見直しや、部門毎に様々なプロジェクトの検討を進めています。各部門が積極的に意見を出し合い、職員一人一人が持てる力を発揮しながら、病院一丸となって現在の苦境を乗り越えていきたいと考えています。

病院事業の運営改善には医療ＤＸの推進も重要ですが、当院では、現在電子カルテの更新作業中です。新年度からは、マイナ保険証資格確認に加えて、新しくなった電子カルテシステムのメリットも患者様にもぜひ実感していただきたいとの思いで、鋭意作業を進めているところです。

以上、２０２５年を『変革の年』として、取組の成果を皆様方に最大限還元できるよう、また、いつも言っておりますが、今年が終わるときには少しでもいい病院になったと言えるよう、また皆様から言ってもらえるように、今年も職員一同精一杯努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

わくわく ドキドキ

2024 中学生 職場体験

新型コロナの影響により、しばらく中断していましたが、取組を再開しました。

市内の中学生に、医師・薬剤師・看護師・理学療法士・放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士など弥栄病院内の様々な職業を体験してもらいました。

将来の自分の進路を考えるうえでも、貴重な体験となったことと思います。

弥栄中学校	3名	10月2・3日
峰山中学校	5名	10月9・10日
網野中学校	6名	10月10・11日
大宮中学校	6名	10月29・30日

祝 安原正博名誉院長が 令和6年度京都府保健医療功労者等知事表彰 受賞

西脇京都府知事より賞状が手渡されました

2024年11月19日、「令和6年度京都府保健医療功労者等知事表彰式」が京都府庁で行われ、当院の安原名誉院長が表彰を受けました。

長年にわたる高齢者医療・在宅医療の推進に対する地元貢献が評価されたものです。

安原先生おめでとうございます。

心不全記録手帳について

心不全とは

高血圧、糖尿病や心筋梗塞、弁膜症、心筋症など様々な疾患で、心臓の働きが低下した結果、息切れやむくみなどの症状が出現してくると、心不全といわれます。大事なことですが、心不全は良くなったり悪くなったりを繰り返しながら進行していきます。

現在、人口の高齢化に伴い心不全患者は増加しており、京都府立医科大学循環器内科の指導の元、＜京都心不全ネットワーク協議会 ＞ が設立されました。この協議会に参加した医療スタッフが、力を合わせて心不全パンフレットを作成されました。

各病院における多くの職種、ベテランから若手まで、この教本を見ながら適切な指導が行えるよう**「患者用のパンフレット」「心不全記録手帳」「指導者用教本」**があります。当院も京都心不全ネットワーク協議会に加盟しており、作成された心不全記録手帳を活用しています。

心不全記録手帳の活用

心不全治療の目的は、原因疾患を治療しつつ症状を軽くして生活の質を改善し、より長く健康な状態を保つことです。そのため患者用パンフレットで、病気のこと、治療のこと、日常生活の過ごし方、体調管理の方法などについて、患者さん自身に知ってもらい、心不全記録手帳に日々の体調や診療の記録を記入し、病気の管理を実践していただくことがポイントです。当院では、その方の病状に応じて注意すべき心不全の症状をお伝えします。心不全憎悪を少しでも早期に捉えていただき、受診へ繋げていただけるようにしています。

入院の際、患者用パンフレット・心不全記録手帳・指導者用教本を使って、看護師より血圧・脈拍・体重などの数値、ならびに息切れやむくみの症状について説明を行います。ご自身での管理が難しい場合は、ご家族や介護サービスのスタッフとも連携し持続可能な管理方法をご提案します。

また、医師によるご自身の心疾患や病状についての説明があり、リハビリスタッフによる体力の向上や測定、心不全症状に合わせた運動や日常生活の過ごし方の指導があります。薬剤師による心不全治療薬の作用・薬の副作用や内服方法についての説明があります。管理栄養士による栄養指導も行います。

退院後はこの心不全記録手帳を医療機関や薬局、デイサービスなどに持参して提示いただくことで、病院・かかりつけ医・薬局・介護や福祉事業所が連携することができます。患者さん、ご家族、病院スタッフ、かかりつけ医、介護スタッフが協力しながら、日常生活での症状を軽減し、心不全悪化を防げるよう一緒に取り組んでいきましょう。

院内清掃作業に取り組みました

9月26日の就業時間後、残暑厳しい中ではありましたが、患者サービス・環境美化委員会活動の一環として、台風により延期されていた中庭・職員玄関前・患者駐車場の除草作業を行いました。

多くの職員の協力により、スッキリきれいになりました。

冬の感染症予防について

冬に感染症が流行りやすい理由は、温度と湿度の低さにあります。

ウイルスや細菌は低温・低湿度を好むため、冬は夏よりも長く生存することができ、感染力が強くなります。加えて、空気が乾燥するとウイルスや細菌が空気中に飛びやすく、一度の咳やくしゃみによる感染範囲が拡大し、感染症が流行しやすくなります。

また、冬は寒さのため体温が下がり、ウイルスや細菌へ抵抗する免疫力が落ちます。夏に比べて水分摂取量が少ないため、体内の水分量が減り、喉や気管支の粘膜が乾燥することで、ウイルスや細菌に感染しやすい状態になり、感染症にかかりやすくなります。

冬に流行する感染症

◆インフルエンザ、RS ウイルスなどの呼吸器感染症
◆ノロウイルス、ロタウイルスなどの感染性胃腸炎

病原菌の侵入する経路があります。感染症にかからない為には、感染経路を断つ事が重要です。

【飛沫感染】… 感染した人の咳やくしゃみの飛沫に含まれる病原体を吸い込む
【空気感染】… 乾燥して小さな粒子となって漂っている病原体を離れた場所で吸い込む
【接触感染】… タオルやドアノブ、電車のつり革、嘔吐物などに触れた手を介して口や鼻から侵入する

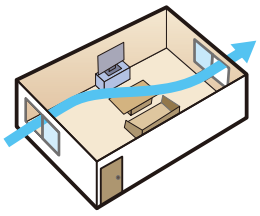
必要な感染症予防策

①マスクの着用… 不織布のマスクを鼻の周りに隙間を作らないようにして装着し、捨てるときは表側に触れないように気をつけましょう。

②石鹸手洗い…… 手にはウイルスや細菌が付着している可能性があります。自分の手に細菌がつき、その手を鼻や口、目などに持っていくことで体内に侵入します。石けんを使ったこまめな手洗いで予防しましょう。手を洗う設備が無い時は、アルコール手指消毒が効果的です。(※ノロウイルスには無効です)

③うがい…… 帰宅直後のうがいが効果的です。初めに口の中の隅々をブクブクうがいして口内細菌を吐き出し、再度新しい水で、のどの奥をふるわせて洗うガラガラうがいをします。

④換気と加湿…… 換気は、物理的に風を起こしてウイルスを室内から追い出します。対角線上にある2方向の窓(1方向にしか窓がないアパートなどは、窓と換気扇を使う)を開け、「風を通し、空気を入れ替えること」が重要です。そして加湿はウイルスの生存しにくい環境をつくります。加湿器は部屋の中央に置き、窓やドアの近くは避けます。冬に快適な湿度は40~60%程度です。



⑤免疫力を高める… 免疫力が弱っていると感染しやすくなります。十分な休養と睡眠、栄養バランスの良い食事を取りましょう。

令和6年 院内集談会 を開催しました

令和6年12月14日（土）、弥栄地域公民館大ホールにて院内集談会を開催しました。
「地域とありたい姿をともに考える病院づくり」をテーマに弥栄病院職員をはじめ、久美浜病院、峰山消防署、老人保健施設ふくじゅの方が、日ごろの業務で得た知識を基にした研究発表を行い、活発な意見交換がなされました。

介護職員の働きがい「ワーク・エンゲージメント」

弥栄病院内科　内科部長　上古　操

緊急カテーテル症例の救急外来滞在時間短縮に向けての取り組み ～DTBT90分達成向上にむけて～

弥栄病院手術室カテ救急室　看護師　樋口　拓弥

コロナ受け入れ病棟における急変時対応シミュレーション研修の効果 ～フローチャートを活用して～

弥栄病院A5病棟　看護師　小石原　千佳子

仕事の質を低下させる要因は何なのか？ ～心理的安全性が奪われる職場の未来～

弥栄病院リハビリテーション科　作業療法士　田中　利典

新型コロナウイルス感染症の対応について

弥栄病院検査室　臨床検査技師長　味田　真一

1.生活習慣病管理料／マイナ保険証の利用について 2.ホームページのあるべき姿について

弥栄病院管理課　主任　吉岡　学　／主事　松本　直輝

予防救急の取り組みについて

京丹後市消防本部峰山消防署消防２課救急２係　救急救命士　**安達　貴史**

京丹後市の高齢化と福祉サービスの現状
～これからの介護支援専門員に求められる役割や支援のポイント～

京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ
居宅介護支援事業所　介護支援専門員　**松見　恵**

小児の訪問リハビリを経験して「おーい。Ａくん来たよ！」

久美浜病院リハビリテーション科　主任理学療法士　**森垣　達哉**

優秀賞　弥栄病院リハビリテーション科
作業療法士　**田中　利典　様**

学術賞　京丹後市消防本部峰山消防署消防２課救急２係
救急救命士　**安達　貴史　様**

外来診療日程表

令和7年2月1日現在

曜日 / 診療科	月 (午前)	月 (午後)	月 (夜間診療)	火 (午前)	火 (午後)	水 (午前)	水 (午後)	木 (午前)	木 (午後)	木 (夜間診療)	金 (午前)	金 (午後)
内科	内科 安原正博			内科 田中成一	物忘れ外来(予約のみ) 安原正博 (2/25)	内科 吉岡美香		内科 安原正博			内科 大阿久達郎	
内科	消化器 高木智久			循環器 足立淳郎		循環器 藤本智貴		循環器 大内成浩			循環器 足立淳郎	
内科	内科 菅原拓真			呼吸器内科 西村直也 (2/4・18) 松本祥生 (2/25)		消化器 鈴木隆裕	人工透析内科 田中稔之	内科 上古 操			内科 田中成一	
内科	内科 辛 丙圭			内科 岡野史弥	消化器 京大医師		消化器 京大医師	糖尿病内科(予約のみ) 小林彩花				
内科	循環器 北部医療センター医師	内科(予約のみ) 上古 操 (2/3・17)		循環器 大内成浩 第1,2,3,5週 ペースメーカー外来 大内成浩 第4週		内科・禁煙外来(予約のみ) 土井たかし		循環器 神谷匡昭				
内科	脳神経内科 (予約のみ) (2/5・6・7・19・20・21)								竹村 学			
精神科 (心のケア外来) (予約のみ)				高橋明日香 (2/4・18) 長尾拓樹 (2/4・18) 後藤優友 (2/25)		山野純弘 (2/5・19) 横井崇人 (2/12・26)		北岡 力 (2/13・27) 野原千鶴 (2/6・20)			成本 迅 (2/14・28) 大矢 希 (2/7・21)	
外科				高塚 聡		北部医療センター医師		高塚 聡			高原文治	
総合診療科	高原文治			笹野 満				笹野 満				
整形外科	関西医大医師			南谷哲輝		森本忠信 (予約優先)		鈴木國大		装具外来 森本忠信 (予約のみ)	森本忠信 (予約優先)	
骨粗鬆症外来 (予約のみ)	森本忠信			森本忠信				森本忠信				
ペイン (予約のみ)								佐々木 健				
産科	俊成 明	(手術日)		俊成 明		(手術日)		俊成 明	俊成 明 1ヶ月健診 13:00～ 俊成 明 14:30～		俊成 明	
婦人科	京大医師	髙島美佳		髙島美佳		永井孝尚		池田義和 (予約のみ) 永井孝尚 10:30~11:30	髙島美佳		髙島美佳	
小児科	岡本清二 (予約優先)		岡本清二	北部医療センター医師 (予約優先)	予防接種 岡本清二 菅原拓真	北部医療センター医師 (予約優先)		北部医療センター医師 (予約優先)	1ヶ月健診 岡本清二 菅原拓真	岡本清二	北部医療センター医師 (予約優先)	岡本清二 菅原拓真
小児心臓 (予約のみ)					馬場志郎 (2/4・18)							
小児神経 (予約のみ)									金丸ゆり (2/6)			
耳鼻咽喉科		竹村晃世 (2/3・17)					吉澤 亮					大江健吾 (2/7・21) 水野敬介 (2/14・28)
眼科	高原誠治			高原誠治		高原誠治		高原誠治 コンタクト外来あり		高原誠治	高原誠治	
泌尿器科		玉井亮佑 (2/10)					今出陽一朗 (2/12・19) 谷口英史 (2/5・26)					
皮膚科							横井友紀					

※産科・婦人科からのお知らせ　診察は予約優先です。診察券をお持ちの方は初診であっても予約が可能です。
※予約変更の電話　14時～ 16時　(産科・婦人科は13時～ 16時)

受付時間 7時30分～11時　診察開始 9時　但し【消化器：高木医師(月)、鈴木医師(水)は10時30分】

午後診療 12時～16時(診察開始13時)

- 消化器内科▷12時～15時(診察開始14時)
- 人工透析内科▷14時～15時(診察開始14時30分)　(初診受付は14時30分まで)
- 月曜日整形外科▷12時～14時(診察開始13時)
- 産科・婦人科▷13時～16時(診察開始13時30分)　(初診・予約外の受付は15時30分まで。但し、婦人科(木)は15時まで)
- 泌尿器科▷12時～15時(診察開始：今出医師13時　谷口医師・玉井医師13時30分)
- 耳鼻咽喉科▷第1・3・5月曜日　12時～15時　(診察開始午後1時00分)

夜間診療

- 眼科・小児科▷15時30分～18時(診察開始16時)

発行/京丹後市立弥栄病院　編集/患者サービス・環境美化委員会　電話/0772-65-2003

〒627-0111　京都府京丹後市弥栄町溝谷3452-1　FAX：0772-65-4136　URL　https://www.city.kyotango.lg.jp/yasaka_hospital/index.html